

C.....06
鳥丸通
ユリノキ



鳥丸通(丸太町～四条)

- 高さ 9.5m
- 幹周 1.45m

◆もくれん科／落葉高木

明治期における京都三大事業の一環として、四条通や鳥丸通の道路の拡幅工事が行われました。明治45年には、京都初の近代的な街路樹整備のモデルとして、鳥丸通にユリノキが植えられました。現在は、その多くがスズカケノキに替わりましたが、当時を偲ぶユリノキが所どころに残っています。

5月に黄緑色の花を咲かせますが、花は高い所にあり、葉に隠れて目立ちません。夏の間、大きな薄い葉によって緑陰をつくり、秋にはその葉が美しく黄葉します。

ユリノキ

もくれん科

北アメリカ原産の落葉樹。花がチューリップに似ているので、チューリップ・ツリーとも呼ばれています。葉が半纏(はんてん)の形に似ているので、日本ではハンテンボクともよばれています。生長が早く大木に育ち、樹形が美しいのが特徴です。



C.....07
京都通信病院
イチョウ



六角通西洞院東入西六角町

- 高さ 14.9m ●幹周 1.54m
- ◆いちょう科／落葉高木

六角通に面してよく目立ちます。地際で双幹になった大木です。

C.....08
龍田稲荷神社
オガタマノキ



蛸薬師通堀川東入亀屋町

- 高さ 11.5m ●幹周 1.30m
- ◆もくれん科／常緑高木

堀川高等学校に接する神社の神木で、樹齢は不明ですが、かなりの年数を経ています。

C.....09
元本能小学校
ソメイヨシノ



油小路通蛸薬師下ル山田町

- 高さ 9.0m ●幹周 1.30m
- ◆ばら科／落葉高木

小学校の正面入口に植えられていて、毎日、子どもたちを迎えてくれました。(写真の樹木は伐採されましたが、南側の1本が現在も生育しています。写真提供：村田茂雄様)